

事務事業名		北関東・新潟地域連携軸推進協議会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課	
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり						担当係	政策調整係	担当課長名	大木 聡		
	施策	1 効率的な行政経営の推進						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	4 広域・地域連携の推進						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
	1289	一般	2	1	7	北関東・新潟地域連携軸推進協議会参画事業	任意的事業・義務的事業	任意的事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H7年度～ 年度			根拠法令等	実施方法	直営					
							事業分類	計画策定・管理事業					
							リーディングプロジェクト	該当					
							市長マニフェスト	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
北関東・新潟地域連携軸推進協議会に会員として負担金を支出している。また、協議会主催の研修会や物産展に参加することにより、北関東・新潟地域の自治体間の交流・連携や情報交換を行っている。 *北関東・新潟地域連携軸推進協議会とは、北関東・新潟地域の21市町を会員として、相互の機能補完や交流連携の推進、地域の特色ある発展を目的に構成している団体である。			(市の活動)総会(高崎市)への出席、担当課長会議・視察研修(加茂市)への参加 (北関東・新潟地域連携軸推進協議会の活動)総会・講演会(高崎市)、物産展(水戸市)、地域づくり研修(小山市)、担当課長会議・視察研修(加茂市)の開催、定期情報誌の発行、協議会HPの更新							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			会議・研修会等出席回数	回	0	2	2	2	2	
			災害支援回数	回	0	0	0	0	0	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
栃木県(5市町)、群馬県(7市町)、茨城県(3市町)、新潟県(5市町)の20の会員自治体(H24.4.1現在)			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
(参画対象団体) 北関東・新潟地域連携軸推進協議会			協議会会員自治体数	市町	20	20	20	20	20	
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
北関東・新潟地域の国道網・鉄道網等沿線の会員自治体が、それぞれの地域資源を相互に活かし機能を補完しあう仕組みをつくる。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			機能補完につながる協議会事業数	事業	3	3	3	3	3	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
他自治体との、各種の広域的な連携を推進する。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			協定締結や事業の合同実施等を行っている広域連携数	事業	9	9	9	9	9	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	50	50	50	50	50	
	事業費計(A)	千円	50	50	50	50	50	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	50	負担金	50	負担金	50
	人件費	人	1	1	1	1	1	
のべ業務時間	時間	120	120	120	120	120		
人件費計(B)	千円	467	473	473	473	473		
トータルコスト(A)+(B)	千円	517	523	523	523	523		

事務事業名	北関東・新潟地域連携軸推進協議会参画事業	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課	担当係	政策調整係
-------	----------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	北関東及び新潟地域の国道網・鉄道網の沿線上に位置する自治体が資源を相互に活かし機能を補完する目的で平成7年2月28日設立された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	北関東自動車道が全線開通し、本地域の連携の必要性は、観光、産業、防災等様々な分野で大きくなっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	新潟県中越地震、新潟県中越沖地震、東北地方太平洋沖地震発生の際に、協議会で定めた「災害時の相互応援に関する要綱」に基づき被災した会員自治体の支援を行い、感謝いただいた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	協議会の参画が都市間の広域連携を進め、交流拠点都市づくりに貢献するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	実際の活動は地域住民が主体性を持って行うことができるが、フレームの部分では行政側がある程度リードする必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	北関東自動車道の全線開通後、新たな連携の方法や範囲を検討するので、現時点では妥当であると考えられる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	北関東自動車道の開通により、北関東・新潟地域は現在より一体化する可能性があり、それに合わせた事業展開が考えられる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	協議会負担金の見直しが行われ、現行の活動を行うのに必要な負担金である。また、現在1人の担当者で事務を執行しているが、事務量は少量であり要する時間は適正であるため削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	市民を対象にした事業ではないので受益者負担の考えはない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
自治体間の機能補完のシステムが完成することで協議会の目的が達成され、協議会が解散したとき終了となる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 北関東自動車道が平成23年3月に全線開通し、北関東・新潟地域の相互のアクセスは飛躍的に向上する。現在、相互の機能補完として災害時の応援体制は整備されているが、アクセス向上により人や物の交流が急速に進むことも考えられ、それらを活かして観光や産業、さらには学術の分野においても地域間の連携が進むよう、会員自治体として協議会に事業の提案をしていく必要がある。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			